

## 別紙① 情報入試を大学入学希望者学力評価テストの一部として課すことに賛成の理由

- 「情報」が今後の社会に必要な能力であると考え
- AO入試や推薦入試等と同様に自身の特技や能力を活かすことができると考えるから
- やや賛成。具体的な中身がわからないので判断しかねる。
- 必修科目として授業に取り組んでいる以上、大学入学希望者学力評価テストの課すのは当然だと思ふ。
- 情報系学部の入試では、情報に関する基礎的な知識を問うものがあるのではなかろうか。
- 内容教科の一種であるため。
- 情報科の必要性に対する価値がよりあがるため。
- イメージがあまりできないですが、やってみて改善していけばよい。
- 実学以外での情報を学習をしてほしいので。
- これからの時代、教科「情報」の知識が必要であるため。
- 知識として最低限必要
- 現在の状況では「遊び教科」という意識しか持ってもらえない。
- 賛成反対どちらとも言えないが、高等学校レベルの基礎知識は身に付けておくべきではあると思う。それがテストで測れるかどうかは抜きにして。
- 情報関連知識・技能は一般的素養として必須と考えるから。
- 高等教育までに基礎基本の学力水準を保持する必要がある。
- ICTは社会の中で大きな役割を果たしているため、その社会を生き抜く力を身につける必要がある。大学希望者学力評価テストはそれを勉強するきっかけになると思う。
- 問題を解決するためには「情報」で学ぶ考え方が必要となるから。
- 大学生の情報モラルが十分とはいえない
- 過去にあった、未履修を防ぐ為
- 基本的な事項として必要な能力であるため
- 問題文を読み、筋道を立てて考え理解する力、それを表現する力を測るものとして適していると思われるから。
- 情報科で学習すべき内容や教科としての立ち位置は明確になるから。ただ生徒の興味関心に留意した実習をなるべく取り入れながら授業を展開すると「情報Ⅰ」だけでは時間数が不足し対応が難しいのではないかと、カリキュラム上他教科との関係で「情報Ⅱ」を選択する生徒が大学入学希望者学力評価テストで情報入試を必要とする生徒とマッチしないのではないかなど、現実的には課題が多く感じる。
- 生徒たちに、さまざまな課題の解決を探究する力を身につけさせたいので。
- 社会で情報の重要度が高くなっているため
- 情報の知識を問う問題のように明確な答えがある問題は良いと思うが、プログラム言語を問う問題は教える高校の教員力に左右されるので難しい。
- センター試験で点を取りやすいと思う。生徒に対して、授業を行いやすくなる。生徒の意欲に繋がる。
- 授業内容の学校間の相違が減る可能性がある
- 必修科目としながら学生の力を評価しないのは不適当
- これからの社会において、マナーを含め情報をあつかう知識が必要だと思う
- 大学の授業等で情報が主になっている事を考えるとあった方がよい。
- 学習内容の学校間格差を縮めるために効果があると思います。
- 大学に入ってから基礎リテラシー、教養として一定水準の点数以上を取ることが必要と考える。ただし、ここで問われる内容が、大学で求めている情報活用能力であるかは議論が必要だ。

## 別紙② 情報入試を大学入学希望者学力評価テストの一部として課すことに反対の理由

- 思考力・判断力・表現力を点数化できるかどうか疑問
- 明確な判断基準がない
- コンピュータ機器を全家庭・全個人が持っているのを前提としてはならない。情報格差。
- マークテストではなく、小論文などで問題解決力を問うものなら良いと思う。
- 受験生の負担が過重すぎる。
- 自身が良く分かっていないため
- 受験という枠を超え、のびのびと生徒一人ひとりが情報社会で起きていることを楽しみながら調査し発表できる雰囲気なくなる可能性がある
- 教科情報は学校により内容の差が激しいため不公平な気がする
- 情報は「方法」を学ぶ科目だと考えるため。情報で学んだことを他科目に活かしてほしい。
- 各家庭での情報格差があるから。
- 現行の2単位では、十分な授業・指導ができないため
- 教材の自由度が減少する。
- 評価テストで「思考力・判断力・表現力」を問うことが無理だと考えるため。
- 情報科の認知度や重要性は上がるが、思考力・判断力・表現力を十分に評価できる指標ができなければ、他教科と変わらず単なる受験科目の扱いになってしまい、かえって情報科の特性を失わせる危険性があるから。
- 必修単位数の授業だけでは学習が不十分なので、入試に対応できないから。
- 内容が画一化してしまう
- 科学の一分野として科目化することができるなら試験実施は意味があるように思う
- 「情報」という言葉があまりにも範囲が広く、定義も曖昧である。
- 単に大学での機器利用を前提としたフィルターにすぎない。入試は技術的要素より、純粹に学力を問うべき。
- 知識に偏ると思う
- 実技指導に重きをおいているから
- 未だに学校によって教えている内容やレベルに差があることや、授業で、生徒に対して必要であると考える問題を独自に授業に取り入れることが難しくなるため。
- どちらでもよい
- 生徒の負担が重くなる。
- 他の教科ではかることが可能である
- まずは英数国の基礎学力が大事だと考える為。これらがしっかりしていないと「情報」が積み上がらない
- 普通科2コマでは不可能 実技時間がへります
- 学力評価テスト自体に反対だから

## 評価テストの中で「思考力・判断力・表現力」を問うことができますか

### 別紙③ はいの理由

- やや賛成。具体的な中身がわからないので判断しかねる。
- 出題形式を工夫すれば可能だと思います。
- 記述形式の問題などで、一定の評価をすることはできるのではないかと。
- 読解問題を用いれば、回答が多肢選択であっても、思考力・判断力は問える。
- 評価基準及び評価規準をしっかりと定めた課題を出題すれば、問うことも測ることもできると考えます。
- 考査という形ではなく、各自学習してきたことを蓄積したものを提出させることで、何に課題意識を持ち取り組んできたのかが分かるため
- 定期考査でも問うことができているから。
- 作問の工夫しだい。ただし、非常に難しい。
- 表現力に関しては何とも言えないが、思考力・判断力に関しては問うことができると考える。
- ある一定の評価軸、指標ができれば、それに沿った形で柔軟に解答に対応できるものであれば可能と思う。
- 記述式であれば、可能かと思われる。
- 思考力はある程度測れるのでは。判断力・表現力は難しいかと思われる。
- 一部は可能、でも全体をはかることは難しい。
- 今までそうしてきた歴史がある。
- 問題の内容によっては問うことができる。採点基準を作成するのは困難になるとと思われる。
- 問題を工夫すれば可能であると思われる
- これまでの教科の枠を超えた力も測ることができるのではないかと思います。
- 問題から必要な情報を読み解き考える形式の問題であれば、定義されている「思考力・判断力・表現力」を問うことができると感じたから。
- 限定的になってしまうと思いますが、センター入試のマークシートだけよりは思考力・判断力・表現力を問うことができます。
- プログラムなどを見て、どれだけ効率の良いものなのか判断を行ったり、考えたりすることができる
- レポート提出で問うことが可能だと思う。
- 出題次第
- 思考力・判断力を試すための出題を工夫すれば可能だと思う
- 問うことは可能だが評価する側の問題が大きいのは事実
- 「答えは無い」＝「すべてが正解」問いは作れる 評価は厳しい
- 講義や文章に合ったパワーポイント作成や実際にプレゼンをさせるなど自由度の高いテーマを設定すれば。
- 「思考力・判断力・表現力」を問うためのさまざまなサンプル問題が、他教科にあると思うので、そこから学ぶことが多いと思う。CBT という形式にこだわらず、問える設問をどんどん公開していくことが大切だ。

#### 別紙④ いいえの理由

- ペーパーテストでは限界がある
- 思考力・判断力・表現力を点数化できるかどうか疑問
- その3つの力を入試で測ることに意味がない。また社会階層の固定化が懸念される。
- 明確な評価基準がない
- 上記に同じ（マークテストではなく、小論文などで問題解決力を問うものなら良いと思う。）
- 自身が評価テストについて良く分かっていないため
- 実技中心の科目のため
- テーマ×手段×時間による。AO入試と変わらないのではとも思う。
- 正確には問えないから。
- 全員の解答を1人がじっくり採点すれば可能だが、現実的に不可能
- 問題作成および採点のコストが莫大になり賄えない。長時間の試験時間が必要となり、実施が困難である。
- 例えば2次元の中で、基本的にはテキスト情報のみでどのようにそれらの能力を計測できるのか、想像がつかない（勉強不足ということもありますが・・・）
- 高校生で養うべき能力なのか疑問である。
- 客観的判断が難しい。
- 解答が記述式だとは限らないから。
- 答えは、1つと言えないと思う
- 採点に時間がかかるため、出題が難しいと考える。
- 択一式のような答えが1つとは限らない事、採点者によって採点基準が変わる事、表現力の中に解答者の思想が反映されている場合もあり難しいと思うため。
- テスト形式では評価は困難ではないかと思います。

## 国公立大学の二次試験や私立大学での一般入試で教科「情報」が入試科目として広がることに

### 別紙⑤ 賛成

- 教科「情報」をもっと発展させるきっかけになる
- 全国の情報科教育が軽視されなくなり、一層教育の価値が高くなると考えるから
- 学科によっては入試科目に入れてもよいのではないか
- 情報系学部の入試では、情報に関する基礎的な知識を問うものがあるがよいのではないか。
- 内容教科の一種であるため。
- 基準を明確にするために議論する場を設けなければならない
- 情報科の必要性に対する価値がよりあがるため。
- 入試科目になると校内の教員数が増えるかもしれないため
- 教科情報の重要性が増すのではないか。
- 大学での授業内容の基礎となるのであれば必要
- 生徒が持っている可能性を少しでも上げられると考える。
- 大学独自に十分に評価できる指標が示されていれば、二次であるなら可能と思う。
- 特殊な（特化された）知識・技能を持った生徒が発掘される。
- 情報関連知識・技能は一般的素養として必須と考えるから。
- 現在はあまりにも多種多様な授業内容になっている。もう少しその点は整理されるかも。
- ICT は社会の中で大きな役割を果たしているのだから、その社会を生き抜く力を身につける必要がある。また、情報が得意という従来の試験では、はかれなかった能力を持った学生を発掘することができるから。
- 「情報」に関心を持つ生徒が増える可能性があるから。
- 生徒のやる気が向上する
- 教科としての重要性もあり、諸外国でも ICT の科目が課せられている
- 大学のその学部に必要な生徒の適性を入試で図ることができ、また生徒にとっても一定の必要な知識や思考をもった状態で、大学での学びにつなげることができるから。
- 情報活用の差で社会的弱者になる可能性がある。
- 大学が求めている生徒像の中に情報活用能力（プログラミング含む）がある場合。ただし、大学側が求めている情報活用能力をしっかりと把握し、かつ受験生に周知している必要がある。
- センター試験で点を取りやすいと思う。生徒に対して、授業を行いやすくなる。生徒の意欲に繋がる。
- 授業内容の学校間の相違が減る可能性がある
- 学生の能力の多様化に対応すべき
- 大学の授業等で情報が主になっている事を考えるとあった方がよい。
- 情報の学習内容の活性化が計れると思います。
- 内容は別として、内は無の方が生徒に優利である
- 学科の特性に合っているのであれば、受験生にとって選択肢が多いのは良いこと。
- 入学後の専門性を鑑みて、必要な大学や学部は課したらよいと考えるから。

## 別紙⑥ 反対

- 思考力・判断力・表現力を点数化できるかどうかが疑問
- 情報に関する知識・能力を基礎学力と考えないため。
- 授業がどうしてもテスト対策よりになるため。
- 受験生の負担が過重すぎる。
- 受験という枠を超え、のびのびと生徒一人ひとりが情報社会で起きていることを楽しみながら調査し発表できる雰囲気なくなる可能性がある。
- 教科情報は学校により内容の差が激しいため不公平な気がする
- 各家庭での情報格差があるから。
- 授業が入試対策に偏る。
- 必修単位数の授業だけでは学習が不十分なので、入試に対応できないから。
- 設問「情報入試を大学入学希望者学力評価テストの一部として課すこと」への回答に同じ（科学の一分野として科目化することができるなら試験実施は意味があるように思う）
- 現行の必修単位数や、他教科との兼ね合いを考えると、入試対策は難しく、結局いわゆる「マニア」な生徒の受験手段の1つになるだけではないか。
- 「情報」という言葉があまりにも範囲が広く、定義も曖昧である。
- 単に大学での機器利用を前提としたフィルターにすぎない。入試は技術的要素より、純粹に学力を問うべき。
- 受験生にも試験の採点をする側にも、負担が大きくなるおそれがあるので。
- 知識を問う問題ではいけないと思うので
- 実技指導に重きをおいているから
- 世の中の流れとしてそうなるのなら仕方がないが、学校によって教える内容やレベルが違う現状では生徒が困ることになると考えます。
- 生徒の負担が重くなる。
- 他の教科で十分である
- 入試科目になると、記憶に頼る勉強が主になってしまうから
- 「情報」を教える教員の不足

## ※どちらでもよい等

- どちらでもよい
- どちらとも言えないと思います。一般入試の問題にもよるとは思いますが、入試問題に答えるためのスキルを指導することで、上に挙げられたような力がつくとは考えにくいのではないのでしょうか。
- 必修教科ではなく、選択教科として加える

**別紙⑦ 思考力・判断力・表現力を育むための授業を行うためには、どのような教材が必要と考えますか。ご自由にお書きください。**

- 生徒の興味・関心を引くような教材
- プログラミング学習用教材ロボット（ビュートレーサー・レゴマインドストーム等）
- 生徒が主体的に取り組みやすいコンテンツなど
- プレゼンテーション
- 生徒が興味関心をひきやすい、身近なものや、直接関係のあるテーマを設定する。
- いろいろな白書データ
- 計画的に煩雑化された資料、映像等
- プログラミングに関する問題集、レポート作成・統計分析に関する図書
- 問題解決に向けた議論のしかたなど
- 楽しさが実感できるような教材
- 問題解決のテーマ、手法
- 生徒一人ひとりが独自の疑問を作り、あらゆる情報源から調査し、客観的な情報に基づき、自分なりの意見を創造する教材
- 今あるものを工夫していく
- 現行の内容で良い
- 問題解決型の教材
- 支援ツール(支援システム)
- 特定のテーマを与えてこれを自分の判断で解決するような教材が必要。
- 思考力・判断力・表現力を養うような問題、手法、事例を載せている教材
- 映像教材
- 様々な分野からのゲストティーチャーの招聘
- 柱となる教科書
- 思考力・判断力に育成にはプログラム作成の教材が良いのではないかと。表現力育成はプレゼン。
- グローバルな題材を取り上げ、情報で培っているスキルを応用していく実習教材
- オークションサイトの活用
- 問題解決に関する問題集 例：「学校内で想定される課題や問題を excel を用いて解決するにはどうしたらよいか」といった問題が複数掲載されている問題集
- プレゼンテーションスキル向上のためのテキスト
- 作品の作成を通して、グループワークでの実習
- 成果が見えるもの、例えば自分でプログラミングして動かすことのできるロボット。生徒が日常的に使用しているスマートフォンやタブレット等が授業で使える環境。
- 文系理系問わず興味関心を持つことができるプログラミング教材や、取り組みやすい問題解決の教材
- 本校ではSGH(スーパーグローバルハイスクール)の課題研究を通して、創造力や思考力、コミュニケーション力を育んでいこうと試行錯誤しています。情報科は、SGHの課題研究を進めるための、情報収集と分析、ポスター作りと口頭発表のスライド作りに重点的に取り組みました。教材は、各自(班)の問題意識にもとづいたテーマの仮説の検証です。
- ポスターや修学旅行の一部プランを考えるなど
- 答えが一つとは限らない題材や教材、実技課題でもクリエイティブな課題や教材が必要と考える。
- 生徒が理解しやすい映像教材(堅苦しいものはダメ) わかりやすい手順書

- 生徒が自発的に作業や発言を行う環境を整えた上でのワークショップ等。
- 特に無し
- 制限なく自由に使用できるネットワーク環境と校外活動も可能となる授業形態下で伝える教材。
- インターネットの活用、各自検索させ、色々なことを調べさせる
- 生徒に話し合い発表の機会を持たせるもの ビーバーコンテストのような内容のもの
- ディベート等を授業に取り入れています、どれ位養えているかは自分の中でも”？”です。
- all 肯定された情報の収束と、倫理を使った判断で区別する内容を多く含む導入教材
- トレースロボット等のプログラミング教材
- 与えられた情報から分析を行い、そこから読み取れる、推測される情報を自分の言葉（もしくは、与えられたキーワード）を用いて（単文）表現する。

**別添資料1(文部科学省受託事業の説明図)、2(中教審第197号・「情報科抜粋分」)を見た上での自由意見**

- なし
- 連続した授業が望ましいが、受講生徒が連続授業に耐えられなくなっている。
- 情報科の位置づけは、全ての教科のベースになる（リテラシー）ことであるものだと考えている。また、学習内容とその発展を考えると、課題研究的な取組の一部であるのが自然であるように思う。
- 現在は、小中学校で受ける授業の内容や質が担当者や環境によって大きく差ができ、高校入学時のレベルに著しい差が生じている。小中学校での位置付けがある程度決められることで、どれほどこの差を埋めることができるのか、期待と不安がある。
- ルーブリックの導入が設定が必須と思われます。
- データサイエンスという言葉の利用はやめるべき。データマイニングが正しい。アメリカでマイナーな研究者が使った言葉を、日本の教育界がメジャーにしてどうする。言語活動(言語学の中で使われる専門用語)やアクティブラーニングと同じで、定義のはっきりしない間違った概念を定着させる。サイエンスの範疇にデータがある。特にデータ化は理科で学習するべきで、情報で扱うと数値化することでのごまかしが蔓延る危険性が大。
- 2進数の考え方を使ったクイズのような問題を考査で出題すると、普段は「成績が良い」とは言われないような生徒が、素晴らしい答えを書いてくれることがあります。長い文章の問題を読んで理解し、考察して記述できる生徒は、本校では少数ですが、このような力を他の生徒にも伸ばしてほしいと思いますし、また、そのような力を評価してやりたいとも考えています。社会の変化も激しく、今の授業を変えていく必要性を感じながら迷走していますので、新しい指針に期待しています。
- 情報科単独の授業をする（SGHなどの課題研究をしない）高校の場合、どのように対応すべきか頭が痛いです。
- なし
- 特に無し
- 非常勤率の高い教科です。「家庭科」の鐘鏝で、1学年で2コマないと聞いています。また高1での履修が多く、大学入試での対応が非常にむずかしい。普通科高校での入試利用は現実的ではないかと思います。